

狭山市教育委員会
教育長 向野 康雄 様

狭山市立奥富小学校
校長 伊藤 秀一 印

平成29年度 狭山市立奥富小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1) 豊かな心の育成	(2) 学力の定着・向上	(3) 安全・健康・体力の育成
(4) 学年・学級経営	(5) 危機管理に強い学校づくり	(6) 学校・家庭・地域との連携・協力

2 本年度の経営方針

子供・保護者・地域・職員が笑顔で明るい学校

3 自己評価結果

A:よくできている(90%以上) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 教育 目標	1	教育目標や学校経営方針を意識して、校務分掌にあたっているか。	A	・各種便り、評議員会、民生児童委員会などを通じて指導の重点を保護者、地域に周知徹底するように努める。
	2	指導の重点を意識して、日々の授業をしているか。	A	
	3	学校教育目標や学年・学級目標を児童・保護者等に周知するよう工夫しているか。	A	
2 組織 運営	4	児童理解に基づき個性や可能性を伸ばすための学年・学級経営がなされたか。	A	・教職員相互の意志の疎通を図っていききたい。それには風通しの良い職員室にすることが必要ある。一人一人の教職員に声かけをして日頃からのコミュニケーションを大切にしたい。 ・家庭はもちろん、ボランティアさんとのコミュニケーションを図り、連携・協力体制を推進する。
	5	担当の校務分掌・各種委員会は、機能しているか。	A	
	6	職員会議や各部会が、計画的に持たれ、機能しているか。	A	
	7	各組織内では、「報告・連絡・相談」が適切になされているか。	B	
	8	学年研修は計画的になされているか。	A	
	9	学習支援ボランティアを導入するなど、家庭や地域・外部機関との連携に努めているか。	B	
3 教育 課題	10	授業時数は確保されているか。	A	・国語科の校内研修を柱として、次年度も学校を挙げて授業改善に取り組む。また、国語科以外の教科にも波及するように努める。 ・月ごとに朝マラソンと朝ダッシュに取り組むことにより体力向上を図った。特に上級生が一生懸命に走るの、それが下級生にとって良い見本となり意欲の向上につながっている。今後も「継続は力なり」なので続けていきたい。 ・生活アンケートを通じていじめの早期発見・早期解決に努めている。また、自己肯定感を高めるために、児童の良いところを認め、褒めて伸ばす機会あるごとに話をした。その結果、わずかであるが数字的に伸びが見られた。今後も継続していきたい。
	11	日課表は適切であるか。	A	
	12	年間指導計画は本校の実態に即して適切に計画されているか。	A	
	13	指導目標をおさえた指導ができているか。	B	
	14	個々の能力に応じて、基礎基本の定着を図る指導法の工夫改善がなされているか。	B	
	15	授業のねらいを明示し、児童の言葉でまとめをする授業実践に取り組んでいるか。	B	
	16	主体的・体験的・問題解決的な学習を取り入れた授業が展開できたか。	A	
	17	学習指導の結果を振り返り、反省と検討をしているか。	B	
	18	評価の規準は学年内で統一されていたか。	A	
	19	学習に必要な資料・教材教具は用意され、使用後は整理や保管が適切になされたか。	A	
	20	体育部の方針に沿って、積極的に体力向上の取組を推進できたか。	A	
	21	バランスの良い心身の発達を指導し、児童の健康管理を支援できたか。	A	
	22	学びの場を地域へ広げ、地域の環境や人材を効果的に活用するよう努めたか。	A	
	23	課題研究、現職研修に主体的に取り組んでいるか。	A	
24	ICTを積極的に活用して授業をしているか。	A		
4 生徒 指導	25	授業はじめと終わりの挨拶について、指導の徹底を図っているか。	A	・授業規律の確立に向けて、授業はじめと終わりの礼の仕方を全校で統一した。凡事徹底を目指す。 ・本校の児童は時間や決まりを守ることができているので、今後もこの状況が継続するようにしていきたい。
	26	校外での生活指導は適切になされたか。	A	
	27	生命や人権を尊重する心情や態度を育む指導は適切になされたか。	A	
	28	教師・子供ともに「くん」「さん」づけが、徹底しているか。	C	
	29	豊かな心・強い意志を育む道徳教育は効果を上げているか。	B	
5 環境 整備	30	教育効果を高めるような掲示の工夫をしたか。	A	・児童のあいさつ、言葉づかいに関して、アンケート等の数字は悪くないが、教師側から見ると、登校時のあいさつの声が小さかったり、時と場に応じた言葉づかいができなかったりという現状がある。今後も指導の重点の1つとして取り組みたい。 ・学校事故0を目指して『常を疑う』の精神で定期的な安全点検を行い、要修理箇所に関しては迅速に修繕を行う。
	31	特別教室が計画的に整備され、有効に利用されているか。	A	
	32	元気なあいさつは定着しているか。	B	
	33	正しい言葉づかいは定着しているか。	A	
	34	子供と一緒に清掃や除草等の作業に取り組んでいるか。	A	
	35	開かれた学校の視点から、行事や授業の公開に積極的に取り組んでいるか。	A	
	36	毎月の安全点検をしっかりと行っているか。	A	

狭山市教育委員会
教育長 向野康雄 様

狭山市立奥富小学校
校長 伊藤秀一 印

平成29年度 狭山市立 奥富小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

A : よくできている。 (90%以上)

B : 概ねできている。 (85%以上)

C : あまりできていない。 (70%以上)

D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から
			評価	説明	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・各学年とも充実した学校生活を送り、「目指せ!あいさつ100%」「減らせ!飛び出し0%」「伸ばせ!学力∞」を目指しながら家庭地域との連携の下、安心・安全な学校経営が展開できている。	・重点目標について理解しやすく明確だと思います。特に「あいさつ100%」「減らせ飛び出し0%」は積極的にご指導頂いており児童、教職員に浸透していると思います。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	・学校施設の老朽化は進んでいるものの、昨年度に引き続き清掃指導に重点を置き、児童と教師の協働の下、きれいな学習環境作り努めてきた。	・清掃では、朝早くから校務員さん等がきれいにゴミ拾いをしてきれいです。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・登校を渋るケースは時々見られるが、昨年度に引き続き不登校児童は0である。	・学校の雰囲気が良い。児童は、外での自由時間の過ごし方等、元気に遊んでいる姿を見かけます。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A		・一人一人の良さを引き出す先生方からの信頼は、児童の自信・意欲につながると思います。「伸ばせ学力∞」すばらしい取組です。
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		・教育方針が明確に示されており、それに向かって具体的に展開され、結果が出ていることが実感できます。
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	・今年度も引き続き、国語科の校内研修を柱として、学校を挙げて授業改善に取り組んだ。また、大型テレビやコンピューター機器をはじめとするICTを活用した授業実践も昨年度以上に増えてきている。今後も学び続ける教師集団として、子供たちによりよい授業を提供していく。	・学力テストの結果は県平均を上回っており成果が出ていると思います。また、得手・不得手の分析もされており、不得手の部分については更なる指導をすることをお願いいたします。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A		・ICT活用の授業に取り組みされていますが、効果的な学びの場づくりのために積極的に進めて下さい。
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	B		・高学年になると宿題に自主学習を出されることが多くなりますが最初は月曜日(国語)火曜日(算数)・・・等、自主学習の教科を決めてもらえるとうい。[検討して見てください]
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	B		・授業は私語や落ち着きのない児童は少なかった。内容もメリハリがあり、学力への結果がでていると思う。
	10	児童は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B		
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	B	・あいさつ、言葉遣いについては、本年度も指導の重点の1つとして取り組んだ。その結果、地域の方から「以前よりも良くなった」と評価される一方、まだ物足りないという声も聞く。あいさつ、言葉遣いに関しては個人差も大きく、未だ大きな課題として受け止め、今後も家庭・地域と連携し、継続して取り組んでいく。	・言葉遣いについて、高学年の児童が気遣いがしっかり出ています。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	B		・これからも交通ルール等をしっかり守って安全な生活をしてほしいと願っています。
	13	児童は、時間を守って生活している。	A		・こちらから挨拶すると元よく挨拶をしてくれて気持ちが良い。
	14	児童は、きまりを守って生活している。	A		・毎回、班長が挨拶しない班が1つありました。班長さんが挨拶すれば、班員の児童も挨拶をします。残念です。状況を年に1回でも先生方に旗振り場所に立ててもらえるとうい。
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B	・時間や決まりを守ることはほとんどの児童ができています。	・毎朝、児童から「おはようございます」の挨拶を頂いております。
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	B	・月ごとに朝マラソンと朝ダッシュに取り組んだ。毎朝、ラジオ体操の後、全校児童が揃って走る姿が見られ、体力向上につながっている。特に上級生が一生懸命に走るの、それが下級生にとって良い見本となっている。また、運動委員会を中心とした体育朝会も子供たちに運動する楽しさを伝えている。	・朝マラソン等、声かけをしながら児童の頑張りを高めていると思います。児童もしっかり取り組んでいる様子に、いつも感謝しています。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B		・朝マラソンによって、心身ともに鍛えられていると思います。
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	B		・外遊び等、いつも元気に行動していると思います。公民館によく行きますが、児童の外での行動をよく見ます。
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・学校だよりの内容について、教育活動を積極的にアピールできるものにしてようと努めた。また、いくつかの行事について新聞等マスコミに取り上げられた。	・いつも学校だよりを興味深く読んでいます。これからも学校や児童が身近に感じられるよう、四季折々の行事や出来事について情報提供よろしくお願ひします。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A		・伝統文化を子供達へ伝承していくには大人の理解が欠かせません。先生方の奥富地区ならではの文化に対するご理解・ご指導に感謝します。